第 2 回今金町文化財保存活用地域計画策定委員会会議録

開催日時：令和 3 年 10 月 22 日（金）14:30～16:00
開催会場：今金町民センター2 階会議室
出 席 者：委員 7 名（欠席 5 名）
　　教育長、事務局担当課・連携課 5 名

１．開会挨拶

委員長：地域計画は観光活用も含めた幅広い内容となっている。皆様のご審議を宜しくお願いしたい。

教育長：一堂に会しての会議ができることをうれしく思う。今回は素案の審議をいただくことになるので、忌憚のないご意見を頂戴したい。

委員長：議題の前に、10 月 19 日に文化庁との事務協議が行われたと聞いているので、事務局から簡単に報告をいただきたい。

事務局：本計画が目指す姿や将来像を示す標語がまだなく、それを提示するようにとの指導があった。本日の議題ではないが、審議経過を踏まえて皆さんと検討したい。

委員長：いくつか他の自治体の参考例も紹介されたが、今金町ならではのものを作れればと思う。今の時点でご意見あれば。

委員：町の歴史や産業を振り返ると「後志利別川」を抜きにしては語れないだろう。

委員長：各委員いろいろあるところと思う。標語については事務局から改めて各委員に照会しますので、提案については随時事務局へお願いします。

２．協議事項

（１）把握調査の報告について　資料１

事務局より資料１の通り説明、質疑なし。

（２）計画素案について　資料２・計画の骨子

事務局より資料２・計画の骨子表の通り説明。第 3 章に鉱山一覧表を追加、今年度実施した網羅的把握調査の概要報告については第 4 章で掲載予定です。

委員長：計画骨子表に具体的な事業名が示されているものの、この一覧表にあって計画素案の第 2 章に記載のないものがあるため、そのあたりの整合性をとっていただきたい。また地勢を知る上で松浦武四郎に関する記述は欠かせない。第 1 章でアイヌ語地名一覧の掲載とともに一項を設けてはどうか。

委員：同じように旧国鉄瀬棚線の記述を第 1 章に含めるべきだろう。

事務局:町内に多数ある馬頭観音など､開拓史に関わる馬文化についても記載する。

委員：歴史的建造物については、町全体にブロック塀の腰折れ屋根の牛舎が非常に多くみられる点が特徴として挙げられる。またペチカを今でも使う民家があるのに驚いた。手の込んだ意匠の和風住宅や酒屋の土蔵もあり、特筆すべき建物がい

くつかある。まだ調査は不十分なため今後も把握に努めたい。

委員：砂金採掘跡や金山、マンガン鉱山、メノウ採石場など、これほど鉱物資源に恵まれた地域はないため、鉱山に関する展示資料館が必要と思う。ダムに近接した砂金採掘跡は立地上アクセスも良く、見学できるよう整備がぜひとも必要。マンガン鉱山に関しては、道内の大半の鉱山が道南に集中し、その中でもここの鉱山は重要な位置付けにある。鉱山とともに林業史にも触れるべき。瀬棚線の開業とともに林業が急速に発達するが、その輸送体系についても説明が必要だろう。美利河ダムは全国のダム建築の傑作とされている。治水史とからめた記述が必要。

委員：古い航空写真から遺跡の位置を探る調査を通じて、今金町にはいまだ知られていない重要な遺跡があることがわかってきた。今後の調査によるが、地域の文化財を次の世代に伝えること、具体的には学校教育等の場面で活用することが大切だと感じている。

委員：今回の計画作成事業に関わる中で、これだけ多くの文化財があることを初めて知った。ぜひ学校教育に取り入れ、児童生徒が地域の歴史や文化を学ぶ機会を設けたい。

委員：観光協会主催でマラニックというマラソンとピクニックを融合させたイベントを開催している。後志利別川流域を歩きながら地域の歴史や文化、人と触れ親しめるように発展させていければと思っている。

（3）今後の予定について　資料3

事務局より資料3の通り説明。

委員長：12月11日の推進フォーラムと併せたパブリックコメントについて、一般にパブリックコメントは原案に対して行うものであり、日程的に厳しいのではないか。

事務局：パブリックコメントは原案完成に合わせて行うとし、年明け以降に変更します。

3．閉会

※会議終了後、宮塚委員が持参された旧地形復元図および航空写真の図化機を見学した。
今回の調査の手法と成果を知っていただく機会となった。

以上